

一般国道7号 下浜サンセットロード が全線開通して6ヶ月

～6カ月後の整備効果をとりとまとめましたのでお知らせします～

- 下浜サンセットロードの交通量は17,600台／日、現道交通量は2,900台／日
8割超の交通量が転換しました。
- 大型車の9割以上が下浜サンセットロードに転換、沿線の生活環境の改善が図ら
れたほか、救急活動の迅速化に寄与しました。
- ^{*}リダンダンシーを確保することで、地域産業の振興に寄与しました。

※リダンダンシー：自然災害等の発生等に備え、
あらかじめ交通ネットワークを多重化すること

【開通6ヶ月後】一般国道7号

しもはま

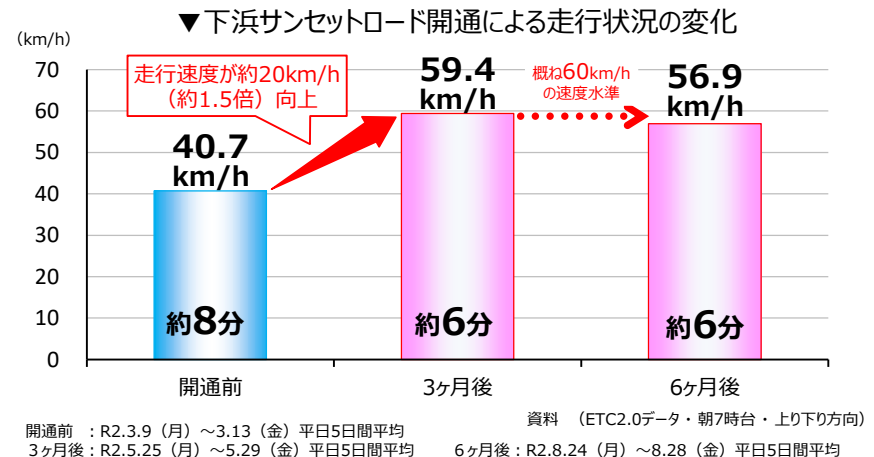
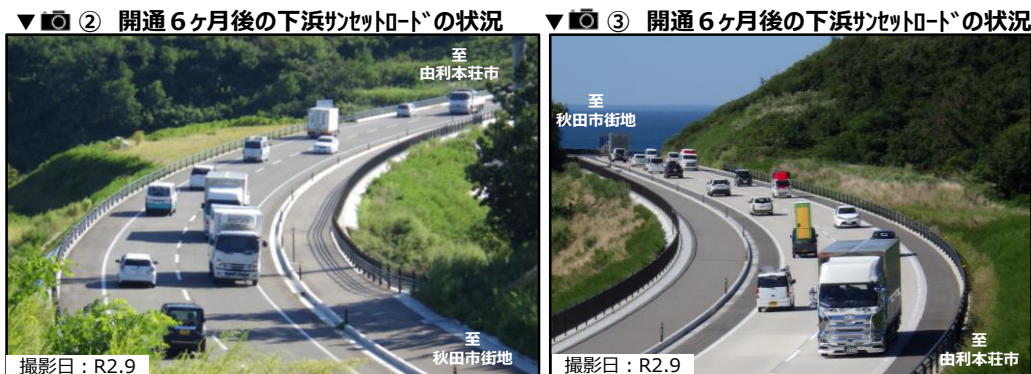
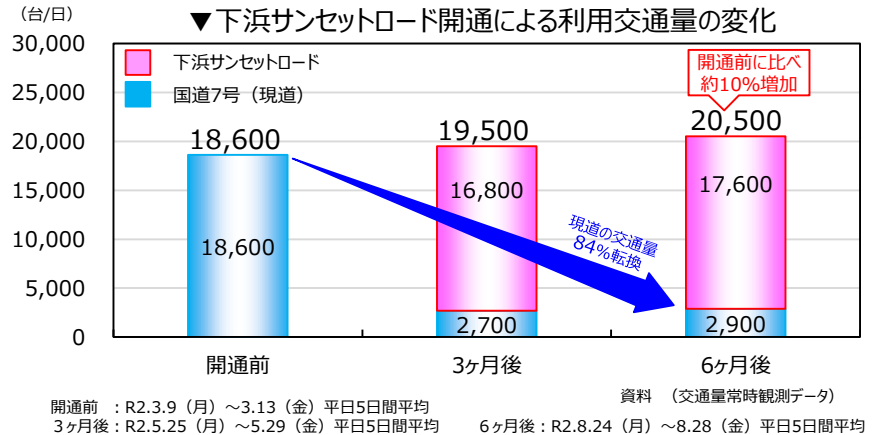
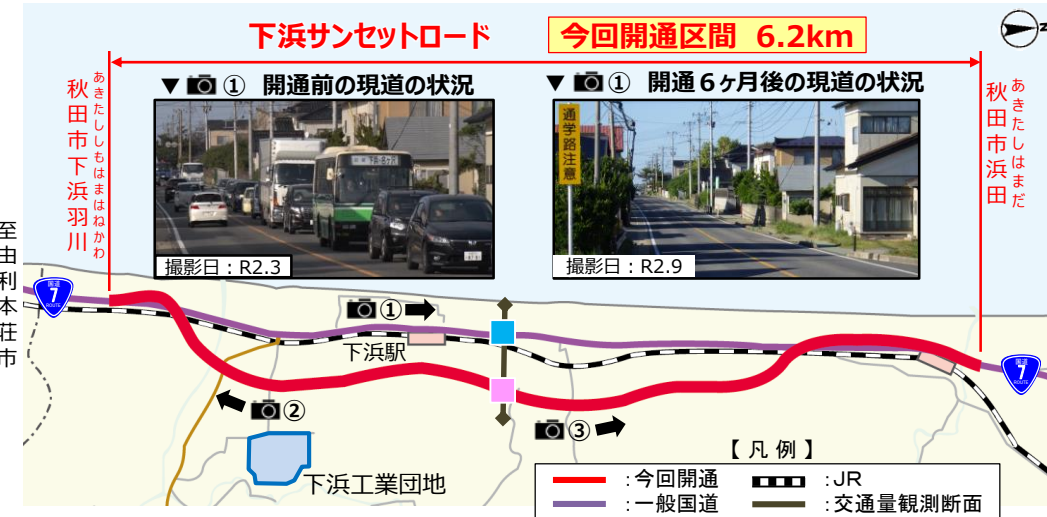
下浜サンセットロード が開通して

(令和2年3月14日開通)

- 下浜サンセットロードの利用交通量は17,600台/日、走行速度が約20km/h向上
- 交通事故の削減 ~歩行者・自動車相互の交通安全性が向上~
- 救急活動の支援 ~円滑な救急医療活動の実現~
- 木材産業の支援 ~木材輸送の効率化による地域産業の振興支援~

○開通区間および周辺道路の交通状況（利用交通量・走行速度）

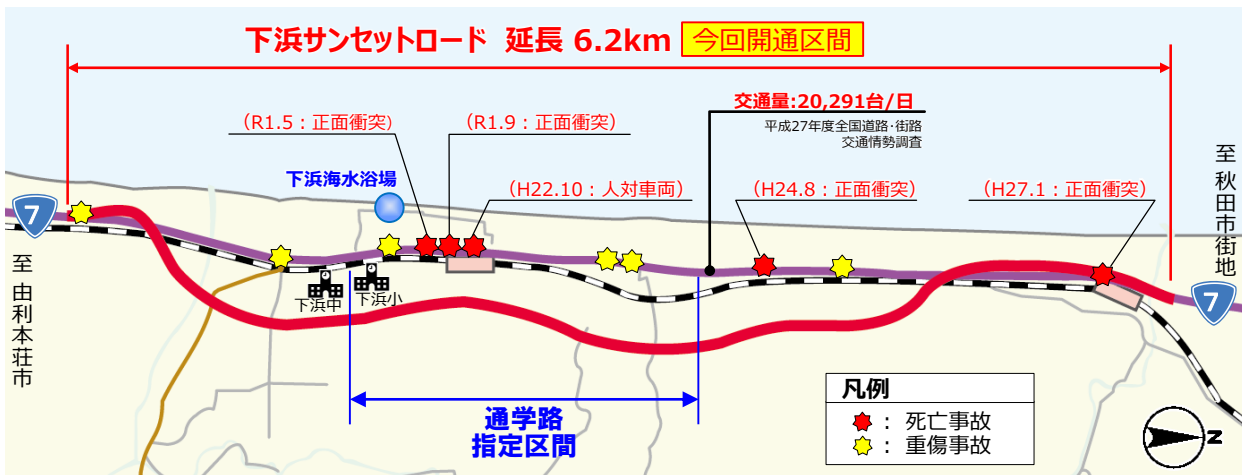
- ・下浜サンセットロードの6ヶ月後の交通量は17,600台/日（平日）、現道交通量は2,900台/日（平日）で開通前に比べ8割超の交通量が転換。
- ・下浜サンセットロードの開通により走行速度が概ね60km/hに。開通前の現道に比べ約20km/h [約1.5倍] の速度向上。



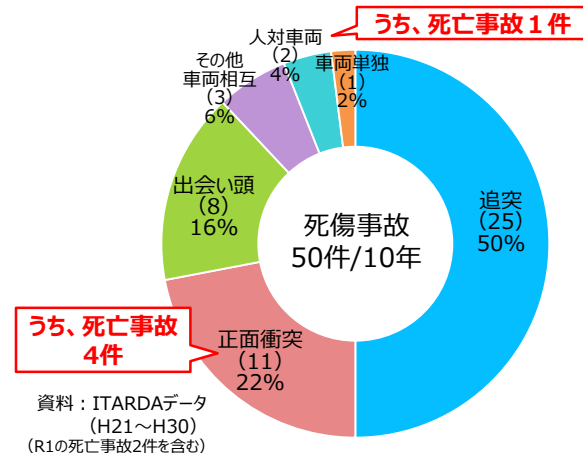
○生活環境の改善 ～歩行者の交通安全性が向上～

- ・下浜サンセットロードの開通以前は、「正面衝突」や「人対車両」など危険な重大事故が現道で発生。
- ・開通後は大型車の9割以上が下浜サンセットロードに転換し、現道の大型車交通量は大幅に減少。
- ・更に、現道でスピードを出し過ぎている車両が大幅に減少しており、歩行者の安全性向上に寄与。

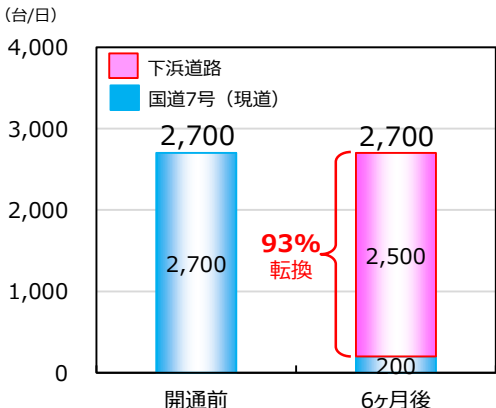
▼現道（国道7号）の事故発生状況



▼現道（国道7号）の事故類型割合

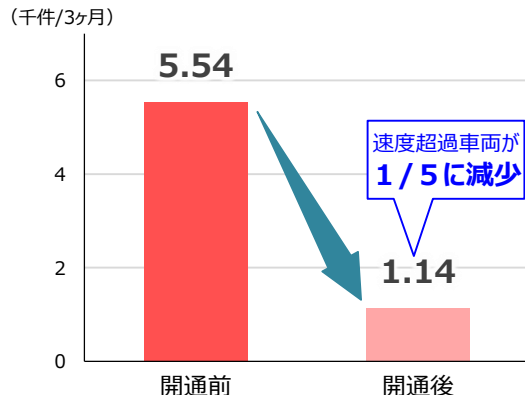


▼下浜サンセットロード開通後の大型車交通量の変化



開通前: R2.3.9 (月) ~ 3.13 (金) 平日5日間平均
6ヶ月後: R2.8.24 (月) ~ 8.28 (金) 平日5日間平均
(資料) 交通量常時観測データ

▼速度超過件数の変化 (現道)



出典: ETC2.0データ (平日: R1.5~7, R2.5~7)
※一般道の最高速度60km/hを超過する件数

【下浜小学校と中学校の声】 (R2.8.17ヒアリング)

- ・通学路区間の多くが、人同士のすれ違いが難しいほど**歩道の幅員が非常に狭く**、車道までの距離が近いため、大型車の通行時に風で煽られ**風圧で車道の方に引き寄せられる**事があり、非常に危険であった。
- ・開通後は、**予想以上に交通量が減少**したと実感しており、通学時間帯に児童や生徒が**事故に巻き込まれる可能性**が非常に低くなった。
- ・開通前は狭い道路を**スピードを出して走行する車が多く**いたが、開通後は無理に急ぐような車は**大幅に減少**したと感じられ、総じて**歩行者の安全性**が高まった。

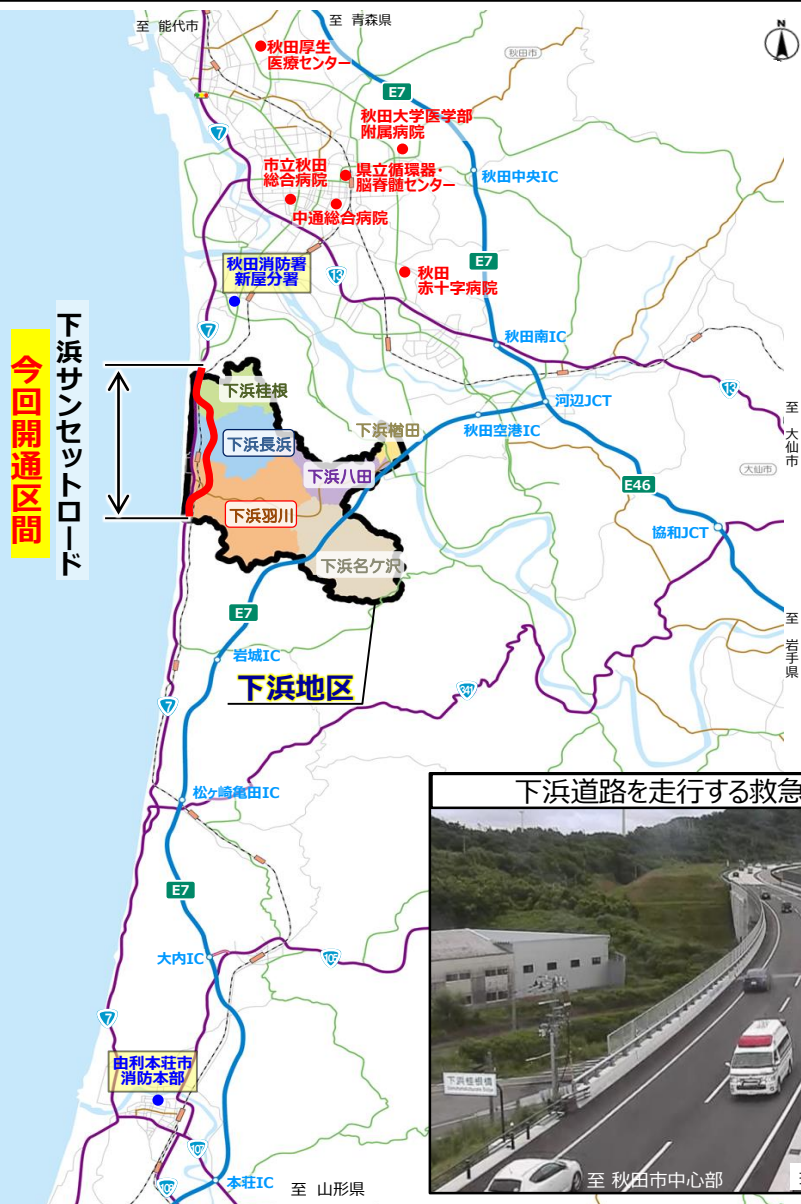


▼下浜サンセットロード開通前の通学状況 (現道)

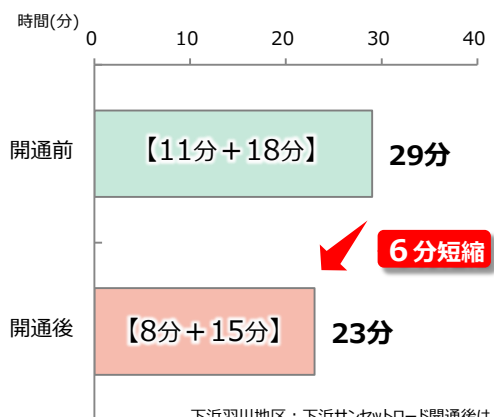


○救急活動の支援 ～円滑な救急医療活動の実現～

- ・下浜地区においては、下浜サンセットロードの開通が救急搬送の迅速化に寄与。
- ・下浜羽川地区は下浜サンセットロードの利用により約6分の搬送時間短縮。
- ・他の下浜地区でも、交通事情の改善により迅速化が実現。

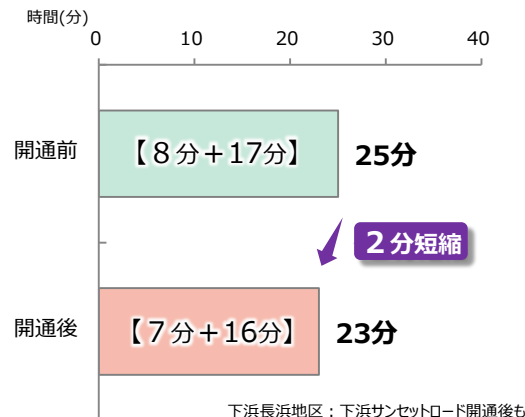


▼「下浜羽川」地区の出場時間と搬送時間 【消防署～現地着＋現地発～病院着】



下浜羽川地区：下浜サンセットロード開通後は、下浜サンセットロードを利用して搬送する地区

▼「下浜長浜」地区の出場時間と搬送時間 【消防署～現地着＋現地発～病院着】



下浜長浜地区：下浜サンセットロード開通後も、現道を利用して搬送する地区

出典：秋田市消防本部の搬送実績（H24～R2）

【秋田消防署新屋分署の声】

- ・下浜道路は道幅も広く**追い越しも容易**で、信号などの**ブレーキも生じず**、羽川地区まで**スムーズに走れる**。
- ・現道は特に大型車が減って混まなくなり、沿線の長浜地区への**出場や救急活動が行い易**くなった。
- ・下浜道路、国道7号ともに安定した走行が可能となり、**搬送時の安全性向上、時間短縮**に繋がっている。
(R2.5.21ヒアリング)



【由利本荘市消防本部の声】

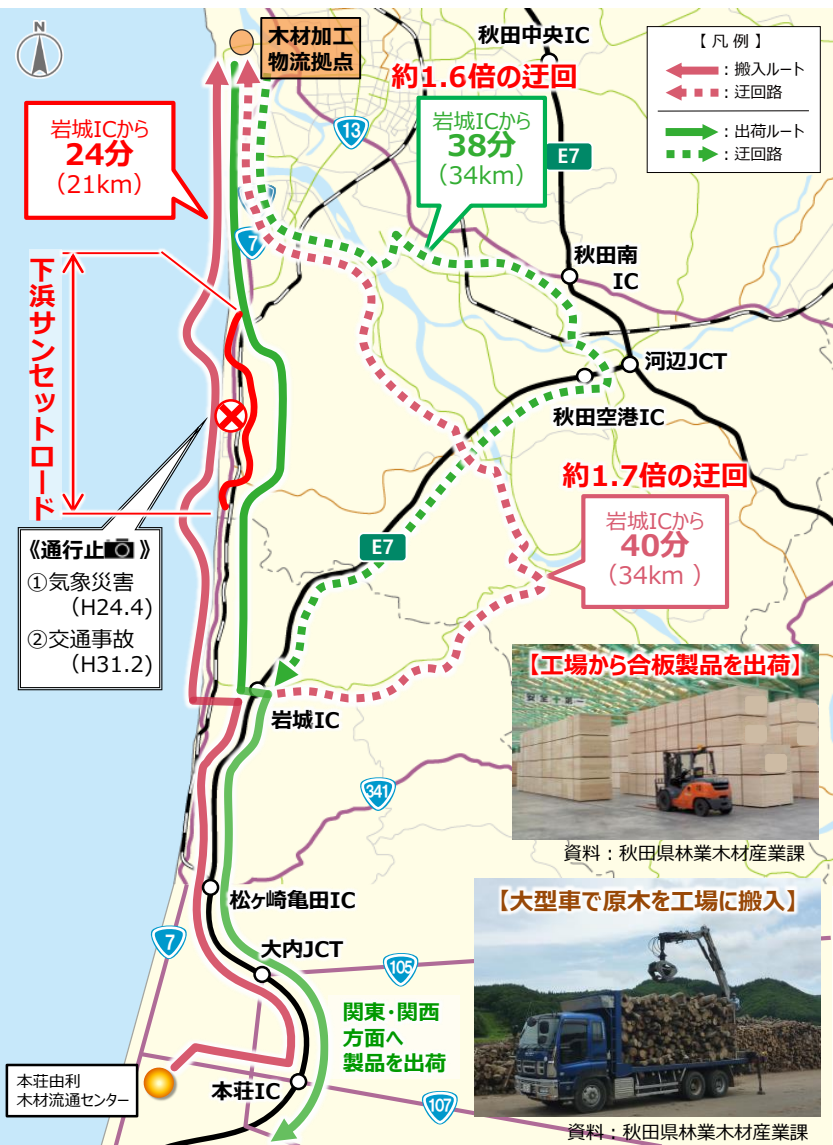
- ・市立秋田総合病院などへ搬送する際には、日沿道の岩城ICより国道7号の**下浜道路を往復で利用**する。
- ・下浜道路の開通により、搬送時間が短縮されると共に、道路の幅員が広くなった事から**前方の見通しが良**くなり、緊急走行時の**安全性が向上**する。
(R2.5.25ヒアリング)



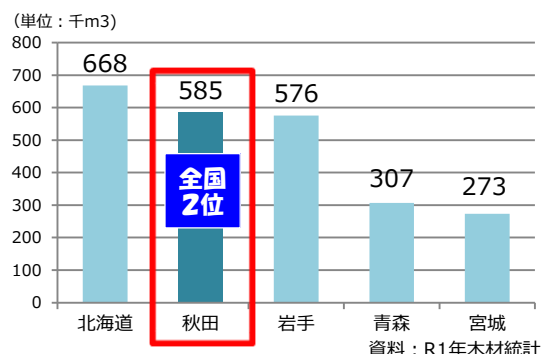
○木材産業の支援 ～木材輸送の効率化による地域産業の振興支援～

- ・秋田県の合板生産量は全国第2位。中でも、本荘由利木材センターから加工拠点への出荷量は県内総量の約2割を占める。
- ・これまで国道7号が下浜地区が災害等により通行止めになると、原木搬入に広域迂回が必要となり経済損失が発生。
- ・下浜サンセットロードは木材流通の安定に寄与。

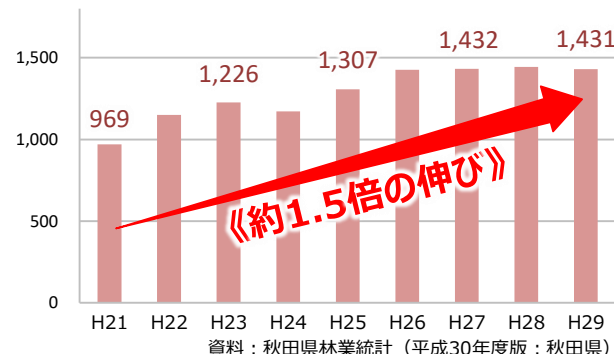
▼原木搬入、合板製品出荷の流通ルート



▼合板等用の素材生産量（上位5県）



(単位：千m3) ▼木材供給量（県内材）の推移



【木材産業関係者の声】 (R2.9ヒアリング)

- ・本荘由利地区からの**原木搬入**や、首都圏や関西圏への**合板製品出荷**時には、下浜道路を必ず利用。
- ・原木搬入では、**車両の大型化**（フルトレーラー）が主流であり、狭隘な**下浜地区を通過しなくて良かった**事は、**輸送効率と安全性**の両面で非常に助かる。
- ・事故や渋滞で1日4回の搬入が2回に制限される場合、輸送の**固定費で原価割れ**が生じ赤字であったが、下浜道路が現道の**一方が通れる事で損失回避**が可能になる。



写真② 正面衝突による通行止め



《民有林面積の県内シェア・トップ3》

